

やさど



かしこく、あたたかく、たくましく

平成 24 年 10 月 19 日

第 16 号

秋の図書館まつり開催

2 学期が始まって 1 か月が過ぎました。朝夕の風も涼しく、秋の訪れを肌で感じるようになりました。秋は、何かにじっくりと取り組むのにはとてもよい季節です。芸術の秋、収穫の秋、スポーツの秋といろいろ言われています。



秋と言えば一つ、「読書の秋」があります。日が暮れるのも随分早くなり、その分夜も長くなってきましたが、秋の夜長に読書でもいかがでしょうか。

本校では、今日の図書日よりでもお知らせしましたが、10月22日～11月4日、「秋の図書館まつり」を行います。読書への興味・関心を高め、本好きな子どもになるよういろいろな行事を企画しました。

まず、朝の読書では、8時30分から8時40分まで10分間、全校一斉に読書の時間をとります。みんなが静かに本を読むことで1時間目の授業に集中して臨むことができます。語彙力も高まります。また、1分間スピーチにも取り組みます。本を読んだ後、感想等を発表することで自分の思いを的確に表現することにつながると思います。友だちとのコミュニケーションもうまくとれるのではないかと期待しています。

他にも、図書委員会の子どもたちによる大型絵本の読み聞かせや図書ボランティアさんによるしおり作りなどいろいろ楽しい活動があります。ぜひ、この機会にたくさん本を読んでほしいですね。



読書習慣をつけることが大切です

今、社会の情報化が急速に進む中で、子どもの読書離れ、活字離れといった事態が指摘されています。テレビを見る機会が多く、ゲーム機に夢中になり、読書を好まない子が増えてきているそうです。

読書で得るものは大きいと思います。読書をすることによって、文章を読み取る力がついできます。さらに、心が豊かになります。悲しいお話を読んで一緒に悲しんだり、主人公の気持ちを想像したりすることによって人を思いやる心を学んでいくことができます。

しかし、テレビを見ている子にいきなり、「本を読みなさい」といってもなかなか読みません。本当に読みたいなという気持ちを起こさせることが大切です。読書の習慣をつけるには、まず読書環境を整えることです。

この図書館まつりでは、家庭読書の取組も進めています。毎日親子で読書を続けることは容易ではありませんが、例え15分であっても、続ければ確実に効果があります。学校の図書館では、ここ数年廃品回収の収益等で本を購入させていただいていて蔵書数も多いです。土曜日には母親部で開放図書も行っています。子どもたちの読書を進めるための環境は、整っています。

ぜひ、秋の夜長に、テレビの視聴を少し縮めて、家族で読書タイムをつくってみてはいかがでしょうか

しょうか。読み聞かせをしたり、傍にいて一緒に本を見たりするのもいいですね。本に親しむ環境を作ってあげましょう。

廃品回収ありがとうございました

10月7日(日)に2回目の廃品回収を予定通り実施することができました。8時、廃品回収がスタートし、地区ごとに保護者の方や子どもたちがテキパキと作業していただき、ほぼ予定通り9時過ぎには終了することができました。収益金(市からの報奨金を含む全額)は、PTAと相談し、学校教育のために有効活用させていただきます。大勢の保護者や地域の皆様のご協力をいただき、ありがとうございました。

また、先日、公益財団法人 古紙再生促進センター中部地区委員会様から八郷小学校PTAに感謝状と記念品をいただきました。本校の廃品回収が継続的に行われ、回収量も多いことが評価されて表彰されることとなりました。皆様のあたたかいご協力で改めて感謝します。今後も引き続きご支援をよろしくお願いいたします。



地域とともに

〈ふれあいパスポート賞品交換〉

12日(金)に八郷まちづくり委員会によるふれあいパスポート賞品交換がありました。これは、子どもたちが地域の行事に参加するとシール1枚がもらえ、ふれあいパスポートにシールを5枚ためると賞品一つと交換できる仕組みです。2時間目が終わったと同時に、たくさんの子どもたちが集まってきました。みんな交換券をもらって、賞品の文房具を吟味して選んでいました。このようなお楽しみがあると、子どもたちが地域の行事に参加しやすいと思います。

〈こども会議〉

同じ日に第2回のこども会議がありました。この会議は、三重県健康福祉部の子ども・家庭局が推進しているプロジェクトで、八郷まちづくり委員会を中心とするみなさんの指導で進められています。今年も11月20日に行われる「やさとフェスタin伊坂ダム」の中で、一部子どもたちで企画・運営していこうと取り組んでいます。いっしょけんめい話し合っている様子を見て、本番のイベントが成功するといいなあと感じました。



中学校の先生による授業・・・5年生

12日(金)に朝明中学校の先生による英語の授業が5年生で行われました。これは、中学校区学びの一体化事業の一つで、中学校の授業を知ったり、また中学教師も小学校の児童の実態を把握したりすることで、段差をなくすために乗り入れ授業をしています。

今回は、鉛筆、消しゴム、定規など筆箱の中身を題材に、名前を尋ねる授業でした。子どもたちは緊張もせずに、指示通り発音したり、友だちと英語の習った文型を使って会話したりしました。わずか1時間でしたが、中学校での英語の授業のイメージがつかめたと思います。

